

# 自然と人のハーモニー みんなで創る え～まち福山

広島県  
Hiroshima Prefecture  
福山市  
Fukuyama City

福山市環境  
イメージキャラクター  
「くわいちゃん」

福山市のあらまし  
面積：518.15 平方キロメートル  
人口：470,944 人(男 228,499 人、女 242,445 人)  
世帯：200,564 世帯(2015 年 3 月末現在)  
特産品：くわい、福山琴、備後餅  
主な産業：鉄鋼業、繊維業、造船業

## 温暖化対策として福山市独自の取り組みがあると伺いました

「福山市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に基づき、市域全体から排出される温室効果ガスを、2020年度までに40%削減するという目標に向けて取り組んでいます。そのための実行プランとして、温暖化対策事業「スクラムふくやま☆エコトライ」を提案。協働をベースに家庭・地域・学校や事業者、行政がスクラムを組んで、地方から地域温暖化対策に取り組んでいます。その中で、事業者への支援のひとつとして、エコアクション21など環境規格の取得補助を行っています。

## 環境問題への対策としてエコアクション21をどのように位置づけられていますか？

本市では、市民、事業者、行政が協働して、温室効果ガス排出量を削減、エネルギーや交通機関が効率的に利用できる環境負荷の少ないまち、さらに省エネルギー対策・新エネルギー利用が進んだ環境先進都市をめざしています。その中で、事業者の環境配慮行動を促進するため、中小事業者等に対して取得費用の一部を補助するなどして、エコアクション21をはじめとした環境規格の取得を支援、市内事業者のEMS取得を促進しています。

## 環境の面から考えたとき、福山市の未来がどうあるべきか教えてください

望ましい環境像として「自然と人のハーモニー みんなで創る え～まち福山」の実現を掲げています。「自然と人のハーモニー」には、人が自然から学び、自然にやさしいライフスタイルに転換することで、自然と人が調和した本来あるべき姿を取り戻すことをイメージ。「みんなで創る」には、市民、事業者、行政がみんなで一緒に環境を守り、育んでいく姿をイメージしており、少しでもその姿に近づいていきたいと願っています。

## 域内事業者へのEMS普及に向けてのお考えをお聞かせください

「市民・事業者・行政」の3プレイヤーによる協働、これが福山市の市政の基本になっています。環境問題にあっては、温室効果ガスの削減に大きく貢献いただきたいのが中小事業者の皆さんです。市としても「中小事業者さんに向けて何かをしたい」との思いから、EMS取得の助成を積極的に行っています。これからも「事業者の皆さんが何を求めているか」を常に意識して、適切な支援策を検討、展開していこうと考えています。

## エコアクション21を活かした取り組み

温暖化対策事業「スクラムふくやま☆エコトライ」の策定に当たり、エコアクション21等の認証取得費補助をひとつのアクションアイテムに設定して、事業者の温暖化対策に向けた行動を後押ししています。



## エコアクション21を広める取り組み

「中小事業者のために何かしたい」を合言葉に、支援施策を維持、継続しています。

### 補助金制度の維持と適用枠の拡大

EMSの認証取得を促進するだけでなく、取得した後に認証を定着させることも重要であり、市としてはこの部分にもフォローしていく必要を感じています。そのため、これまで新規取得時のみだった補助金の支給を認証更新時にも受給できるように制度を改定し、域内中小事業者のEMS構築を長く支援できるようにしました。※補助は新規取得時または更新時のどちらか1回のみ。

### ふくやま環境賞

市民や事業者を対象に、優れた環境活動・取り組みに対して表彰を行う制度で、毎年実施しています。市長自ら受賞者に賞状を手渡ししながら記念写真にも収まり、受賞の様子はホームページ等でも紹介されています。こうした施策に刺激を受けて、事業者の環境活動が活性化したり、エコアクション21を含めたEMS認証取得につながっていただくと考えています。

## 課題とこれからの取り組み

### 施策の周知徹底と取得事業者数の拡大

エコアクション21については、2008年度から認証取得費補助制度を実施し、福山市としてはたゆまない支援を続けているのですが、まちでの反応やEMS取得事業者数の伸び悩みなど、いまだ市の施策を十分に伝えきれていないようです。2020年のEMS認証取得事業者目標値をクリアするため、これからも「中小事業者のために何かしたい」の気持ちを持って、普及活動に取り組んでいきたいと考えています。